

## 診療情報を集めて行う臨床研究に関するお知らせとお願い

熊本機能病院 総合リハビリテーション部では、「ウエルウォークを用いた歩行練習と移乗動作能力の関係」の研究に取り組んでいます。

### 研究の概要

脳卒中患者さんの治療には、身体機能や日常生活動作を改善させるために、発症早期から運動を多く行うことが勧められています。麻痺が重度な患者さんは意識的に麻痺した手足を動かすことが難しいため、装具を使用し歩行練習や立ち上がり練習を行い、無意識でも麻痺した足の筋肉が働くように練習を行います。このように装具を使用した歩行練習を行うことで、日常生活の中で歩行が出来なくても、立ち上がりや車いすへの乗り移りなどの日常生活動作が改善することが期待できます。

熊本機能病院では2017年よりリハビリテーション支援ロボット「ウエルウォーク WW-1000」(以下、WW)を使用しています。WWは基本的に歩けない人が歩けるようになるために使用することが多いです。しかし、当院では日常生活で歩行することが難しいと予測される重症な脳卒中の患者さんに対し、早い時期から麻痺した足の運動量を増やし、体を支える力をつけることで車いすへの乗り移りが行いやすくなると考え WW を使用することがあります。しかし、WW と車いすへの乗り移りの関連性を明らかにした報告は少ないです。

そこで本研究は、WWでの歩行練習と通常の装具を使用した歩行練習において、車いすへの乗り移りをする能力が改善するかどうかを比較することを目的としています。

### 対象となる方

2014年1月1日～2021年12月31日までに当院回復期リハビリテーション病棟に入院し、入院時におひとりで座ることができず、歩行練習を行うために長下肢装具を作成した脳卒中患者さん。

## 研究期間

臨床研究実施許可日 ～ 2023年4月24日

## 利用する診療情報

- ・基本属性（年齢、性別）
- ・医学情報（疾患種別[脳出血・脳梗塞・くも膜下出血]、損傷半球[左右]）
- ・入院・社会的情報（発症から入院までの日数、発症から WW 開始までの日数、WW 練習日数）
- ・入院時の神経学的情報・身体機能（下肢 Brunnstrom Stage、FMA の座位項目の点数、Functional Independence Measure[以下、FIM]の認知項目の合計点数）
- ・入院時・入院 1 カ月・2 カ月・3 カ月時の FIM 車いす移乗の点数

研究機関の名称：熊本機能病院 総合リハビリテーション部

研究責任者氏名：三宮克彦

## 個人情報の取扱いについて

診療情報の利用に関しては、個人情報は全て匿名化されてから解析されますので個人情報が漏れることはありません。また研究結果は、学術雑誌や学会等での発表に使用させて頂くことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。

上記の研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき実施しております。この研究にあなたの診療情報が利用されることに同意できない場合は対象と致しませんので、お手数ですが下記のお問い合わせ先にご連絡ください。また、ご不明な点があるとき、または研究計画等に関する資料をお知りになりたい場合は他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事以外はお知らせすることができますので、ご連絡くだ

さい。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用させていただくことに対して同意が得られたものとさせていただきます。また、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

お問い合わせ先

熊本機能病院 総合リハビリテーション部 理学療法士 桑原萌

T E L : 096-345-8111(内線 2562)、 F A X : 096-345-8188